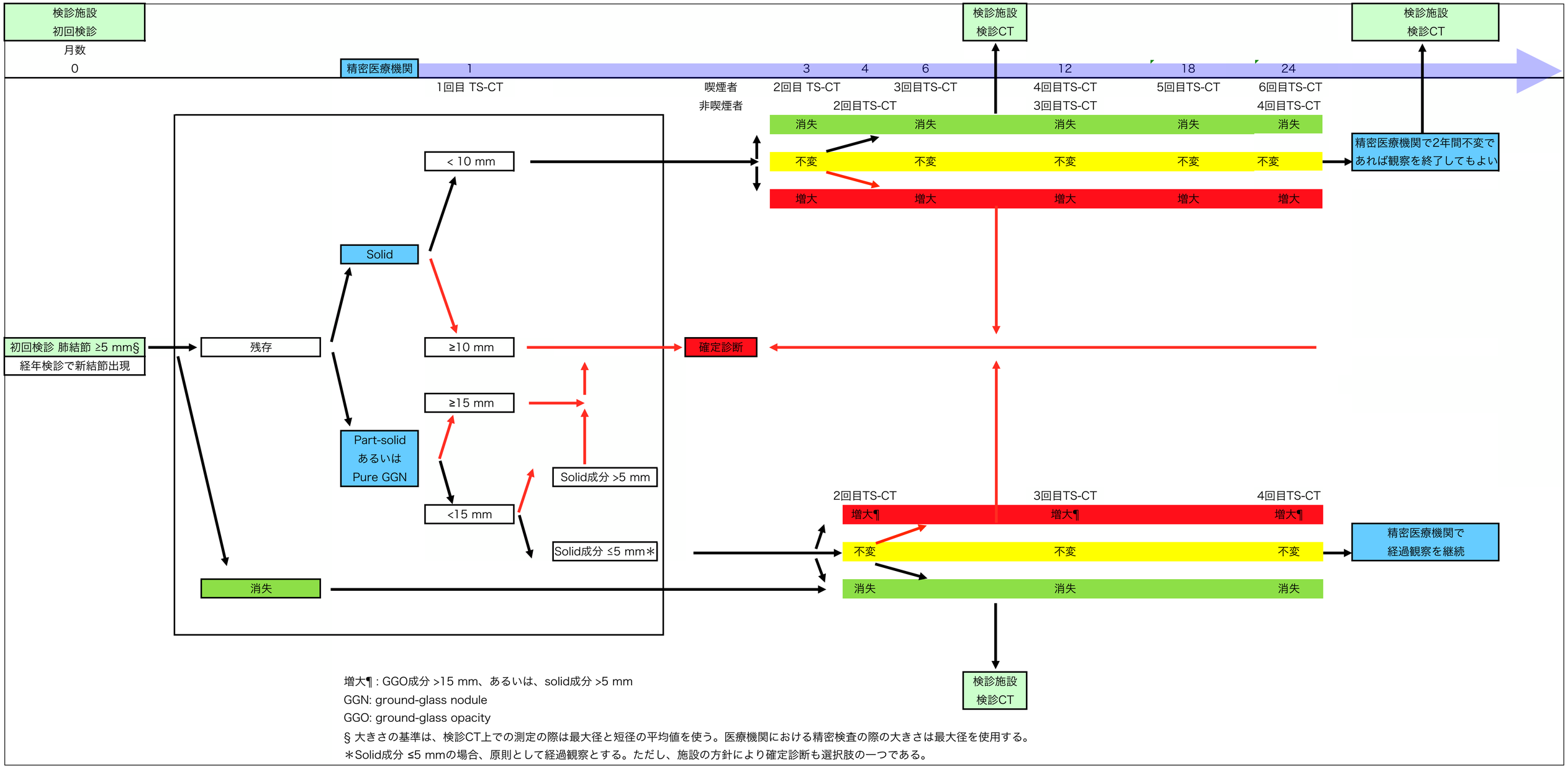

増大¶ : GGO成分 >15 mm、あるいは、solid成分 >5 mm
GGN: ground-glass nodule
GGO: ground-glass opacity
§ 大きさの基準は、検診CT上での測定の際は最大径と短径の平均値を使う。医療機関における精密検査の際の大きさは最大径を使用する。
＊Solid成分 ≤5 mmの場合、原則として経過観察とする。ただし、施設の方針により確定診断も選択肢の一つである。

図1. 低線量マルチスライスCTによる肺がん検診：肺結節の判定と経過観察 第3版 (2013年5月改訂)　©日本CT検診学会